

令和6年度 朝霞市立朝霞第五小学校 学校評価書

○自己評価の評価基準 A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない
 ○学校関係者評価の評価基準 ・自己評価と同じ評価の場合→自己評価は妥当であると判断 ・自己評価と異なる評価の場合→学校関係者評価委員会としての見方を示す

評価領域	自己評価の評価規準 ★校長自己評価シート項目から	自己評価	学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の 意見・提言
Ⅰ 教育目標滑らかな学具校現運化営	①学校の組織運営 危機管理 業務改善	A	<p>◇職員は、学校教育目標、学校経営方針を理解するとともに、「目指す教師像・児童像」の達成を意識して教育活動に当たった。</p> <p>◇学校は、従前の働き方を改革する意識をもって業務にあたった。また、在校等時間を意識し、効率の良い働き方ができるように努めた。</p> <p>◇学校は、施設・設備の整備を適切に行った。</p> <p>◇学校は、個人情報の管理規定（持ち出し、取扱い）を定め、その管理を適切に行った。</p> <p>◆学校は、実践に基づいた振り返りをもとに校務分掌の配置を適切にし、より機能しやすく構成していく必要がある。</p> <p>◆学校は、引き続き国や県・市の推進する「働き方改革」について地域や保護者に理解を求め、教育の質を維持・向上させながら現状の働き方をさらに改革していく必要がある。</p>	A	<p>・HP等で様々なマニュアル等を確認でき、十分に対策されていると感じます。マニュアル等の公表だけで満足することなく、教職員の皆様の行動で児童や保護者が実感できる様に共有していくことが大切だと思います。</p> <p>・校務分掌の分担等は働き方改革に伴い 偏りをなくしつつ 負担が減らせるよう願っています。</p> <p>・働き方改革が、人員不足を引き起こしサービス低下とならぬよう運営調整していただきたいと思います。</p> <p>・学校が地域や保護者と連携し、働き方改革の意義や目的を理解してもらうことは重要です。地域のニーズに応じた教育の提供ができるかどうか、教育の質に影響を与えます。教員の労働環境が改善されることで、教員がより多くの時間を生徒に割くことができるようになるかどうか重要な評価ポイントです。これにより、生徒一人ひとりに対する指導が充実することが期待されます。また保護者が改革に対して理解を示し、協力することができるかどうか、改革の成功に大きく影響します。保護者とのコミュニケーションを強化することが求められます。これらの要素を総合的に評価することで、学校が働き方改革をどのように進めているか、またその成果がどのように教育に反映されているかを明確にすることができると思います。</p> <p>・特に問題がなかったと思います。</p> <p>・概ねできております。</p> <p>・校務分掌も各役割によって責任の度合い、時間的な制約など様々である。管理する側と現場で行う側との確認・報告などより密なコミュニケーションを行いつつ、働き方改革の視点でより機能的な組織運営を期待しています。</p>
Ⅱ 学力向上・豊かな人間性・健康・体力向上を養う教育活動	②基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教育の実践 特別支援教育 研究・研修	A	<p>◇学校は、文科省の示す「令和の日本型学校教育」の理念のもと、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実）を行った。</p> <p>◇学校は、児童の実態に応じて、一人一人の基礎的・基本的な学力の伸びを意識した指導・支援を行った。</p> <p>◇学校は、タブレット端末やICT機器、すららドリル等の教材を活用し、授業改善に積極的に取り組んだ。</p> <p>◇学校は、教員の資質向上のため、教員同士が指導方法の共有を図るミニ研修のほか、外部講師を招聘した校内研修を多く実施した。</p> <p>◆学校は、道徳教育について、毎日の教育活動全体を通じて行った。また、「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業の実践にさらに努めていく必要がある。</p> <p>◆学校は、特別支援教育への正しい理解と認識を深め、児童に適切な支援を行うよう努めた。更に個々に応じた支援方法について研修を深めていく必要がある。</p> <p>◆学校は、個別最適な学び・協働的な学びの実践を引き続き積み重ね、研修を取り入れるなど、教員の資質向上に努めていく必要がある。</p>	A	<p>・様々な研修や情報共有により、指導方法の向上に努めていただいていると思います。職員室の雰囲気も明るく、職場環境の向上に努めていただいているように感じます。</p> <p>・道徳の授業では様々な題材に触れていて興味深いものでした。模範的な意見だけでなく色々な角度から考えられる児童もみられ良かった。</p> <p>・タブレットの普及により、ネットにあふれる良くも悪くも多くの情報を得ることができるようになってきておりますので、「考え、議論する道徳」の実現のためにも、人とのふれあいを引き続き大切にしたいです。</p> <p>・すららドリルの使い勝手がよくないという感想がたくさん保護者から出ており、学校にもその声は届いているかと思ひます。タブレット活用を進めるとしても、すららドリルの利用にこだわらないタブレット活用の方策を検討すべきではないかと思っています。</p> <p>・ICT機器やデジタル教材を活用することで、さまざまな学習スタイルに対応できるようになりますし視覚的、聴覚的、体験的な学びを提供することで、生徒一人ひとりの理解度や興味に応じた授業が可能になり、すららドリルなどの教材は、生徒の理解度に応じた問題を提供することができるため、生徒は自分のペースで学ぶことができ、理解を深めることができますし、教員もICT機器を活用することで、授業準備や生徒の理解度の把握が効率的に行えて、さらに教員の負担軽減や授業の質向上を期待しています。</p> <p>・埼玉県内でも朝霞市の子の学力は高く、朝霞市内でも五小の子の学力は高いと聞いております。先生方の授業あってのことだと思います。</p> <p>・五小の子どもたちは県下でも優秀で、先生方の日頃の指導に感謝しております。授業やカリキュラムも多く、ご苦労も多いと思いますが、教育＝教養という視点とともに、子どもたちが知る喜び、学びから得る喜びが増えるような学習＝学び育つ機会をより与えて頂くことを期待しています。</p>
	③生徒指導 教育相談 規律ある態度	A	<p>◇学校は、いじめ防止対策推進法に基づいて積極的にいじめを認知し、解消までの見届けを適切に行うなど、学校・学年全体で組織的に対応した。</p> <p>◇学校は、新規不登校児童を出さない取組を充実させたり、継続不登校児童への適切な支援を行ったりした。</p> <p>◇学校は、生徒指導や教育相談に関わる諸課題の解決にあたって、保護者や地域、関係諸機関との連携に努めた。</p> <p>◆学校は、児童に「生活のきまり」や「学習のルール」に則った規律ある態度を身に付けさせたが、より一層のルールの徹底に努める必要がある。</p>	A	<p>・先生方だけでは解決できない事案も多発していると思いますので、引き続き学校と家庭、地域を連携してフォローし合っていただきたいと思います。</p> <p>・「大きな夢と目の心がけ」を継続していただければと思います。</p> <p>・生活のきまりや学習のルールを通じて、児童が社会生活や学習における基本的な規律を理解することは非常に重要だ感じています。規律ある態度が身に付くことで、学習環境が整い、集中して学ぶことができるようになります。これにより、全体の学習効果が向上することが期待されます。ただし、ルールの徹底には継続的な努力が必要です。児童がルールを理解し、実践するためには、定期的な指導や振り返りが重要です。また、ルールが守られない場合の適切な対応やフォローアップも必要だと思ひます。</p> <p>・いじめ関係についても特に大きな問題は無いと聞いています。</p> <p>・評価は問題ないですが、実際のいじめの現場を見たことがあり、他人とはいえ注意しました。不登校も、改善のお力添えをしたいと思います。</p> <p>・保護者・児童のアンケートから「忘れ物」が多いと「読書時間」が少ないとの傾向が読み取れます。タブレットでも本でも読書という何かに集中する、集中できるという訓練要素があると考えます。期待を込めて突き詰めると、集力が高めていくことで自らを確認し、点検する習慣、すなわち忘れ物の減少へとつながらないでしょうか。</p>
	④体力向上	A	<p>◇学校は、体力向上推進委員会が中心となって、昨年度課題であった持久力の向上に取り組んだ。</p> <p>◇体育部が中心となり、規律ある集団行動ができる力の育成に取り組んだ。</p> <p>◆引き続き、体力（跳躍力・持久力・踏力等）の向上に取り組んでいく必要がある。</p>	A	<p>・休み時間に多くの児童が校庭に出ている風景がよく見受けられます。外遊びも少なくなっている昨今では体力の向上も難しいと思ひますが、引き続きよろしく願ひします。</p> <p>・体力向上に関しては地域性も大きく関係しているので、少しずつでも意識しながら目標を定め取り組んでいけると良い。</p> <p>・体力や運動能力向上による健康効果等も意識し、楽しく育む時間としてほしいです。</p> <p>・体力向上には時間と継続的な努力が必要です。定期的な運動プログラムやイベントを通じて、児童が楽しみながら体力を向上させる環境を整えることが重要です。また、家庭との連携も大切で、家庭でも運動を促進するような取り組みが必要と考えられます。</p> <p>・基準をどこに置くかで評価は変わらうと思ひますが、五小の子の体力については問題ないと思ひます。</p> <p>・概ね出来ております。</p> <p>・運動やスポーツが楽しいという感覚を持った児童が多いと言われるような特色ある教育活動（以下項目）に及ぶ位の何か策や工夫がつけられないものでしょうか。</p>
Ⅲ 地域連携	⑤地域とともにある学校づくり	A	<p>◇学校は、学校ホームページやtetoruけやきメールを活用して積極的に情報公開を行った。</p> <p>◇学校は、学校運営協議会委員とともに、より良い学校運営について実りある熟議をすることができた。協議会では、担当職員から、教育活動に関する取組について説明し、意見交換をすることで、話し合いを深めることができた。</p> <p>◆学年や分掌に関する取組については、各種よりほかに情報発信していく努力が必要である。</p> <p>◆学校運営協議会の取組については、引き続き会議結果の公表や職員の参加などにより、浸透させていく必要がある。</p>	A	<p>・様々なツールを活用して、情報公開されていると実感しております。学校運営協議会、PTA、学校応援団、オヤジの会・・・職務分掌を明確にして活動していくことでもっと地域連携が図れると感じます。</p> <p>・tetoru等での情報発信は受け手にも浸透してきて活用できていると感じます。</p> <p>・情報公開をする反動で悪質な事を考える人もいると思ひますので、先生方・保護者・地域が継続的に信頼関係を保ち、児童を守る体制を維持していただきたいです。</p> <p>・学校公開につき、五小も以前は給食時間以外は公開されていたと記憶しています。子供が複数名いる保護者としては、2時限しか公開されない自分の子供のクラスを見るのも慌ただしく、他の学年（ひいては学校全体）の様子を見ることは到底難しくなります。</p> <p>・学年や分掌に関する取り組みを多様な方法で発信することで、保護者や地域社会に対する情報の透明性が高まります。これにより、学校の活動や方針に対する理解が深まり、信頼関係の構築につながると思ひます。</p> <p>・学校運営協議会が設置されたり、PTAや学校応援団など、各種活動がなされていると思ひます。</p> <p>・概ね出来ております。ナナコライブラリーFMもさらに活用ください。</p> <p>・朝霞市学校運営協議会規則の目的の中に『学校と地域住民等が信頼関係を深め、』とあるが、協議会の取組そのものだけでなく、日頃からの協議会委員（現職PTA会長など）と教職員との関係がしっかりとしているかが重要であり、この点では五小は十二分なものだと感じています。</p>
Ⅲ 特色ある取組	⑥特色ある教育活動	A	<p>◇学校は、情報モラル教育を積極的に行った。</p> <p>◇学校は、授業や諸活動で、学校図書館を積極的に活用し、児童に豊かな情操を育もうと努めた。</p> <p>◇学校は、学校行事や学級経営、授業を充実させることにより、全教育活動をとおして児童の自己肯定感・自己有用感の育成に努めた。</p> <p>◇学校は、無言清掃の指導に積極的に取り組み、児童の意識を高めた。</p> <p>◆学校は、課題となっていたあいさつについてアンケート調査等をおして実態を明らかにし、課題解決に努めたが、引き続き、教員が率先垂範していく必要がある。</p> <p>◆学校は、人権に関する様々な諸問題について教員が研修等によりその諸問題への正しい理解と認識を深め、児童の人権感覚を教育活動全体を通じて育成する必要がある。</p>	A	<p>・研修などを通して、ご尽力いただいていると感じます。</p> <p>・あいさつについて学年差があるように感じたので、より身近な教職員の声かけ等で更に変わるのではないかと思ひます。</p> <p>・ネット上には悪質な嘘、大げさ、粉らわしい情報がたくさんありますので、情報モラル教育を引き続き行っていただき、受け取る技術と発信する責任を育てたいです。</p> <p>・教員がどのようにあいさつを実践しているかを観察し、その取り組みを評価していく、子どもたちがあいさつに対してどのように感じているか、またその実践がどのように変化しているかを定期的に確認していくこのような評価を通じて、あいさつの文化が根付く学校環境を築くことが大事だと思ひます。</p> <p>・特色のある取り組みがなされているかどうかについては、他校との比較になるため、判断としない部分もありますが、学校としての評価に基づきこの評価としたいと思ひます。</p> <p>・概ね問題ありません。</p> <p>・人権問題を考えることは難しくはないです。身近なことの中で何が問題となるのか、また、どう解決していくべきかを児童同士、先生方や大人を交えて、話し合い整理しながら学んでいくことが大切だと考えます。</p>